

中央新幹線（東京都・名古屋市間）に関する
補正後の環境影響評価書（東京都）の作成のポイント

平成 26 年 8 月 26 日

東海旅客鉄道株式会社

1. 非常口（都市部）の周辺において、騒音や微気圧波の影響がないことを、図や写真を用いて
分かりやすく記載しました

- ・ 資料編に、消音設備や多孔板のイメージ図を用いて、音が低減する仕組みを分かりやすく明記しました。
- ・ また、換気施設の供用に伴う騒音、振動及び低周波音についても、計画している換気装置のパワーレベルや諸元を詳しく記載した他、環境保全措置の実施によって見込まれる減音量等を明らかにしました。

2. 地下水や地盤沈下の予測の根拠とした地質調査の内容について詳細に示しました。

- ・ 計画路線周辺において、長年にわたり実施してきたボーリング調査について、調査位置、掘削長及び試験項目等を資料編に記載しました。
- ・ 地下水の三次元浸透流解析のモデル構築や地盤沈下の沈下量の計算において、このボーリング調査の結果を最大限活用するなど、長年にわたり蓄積してきたデータをもとに丁寧に予測評価を行っています。

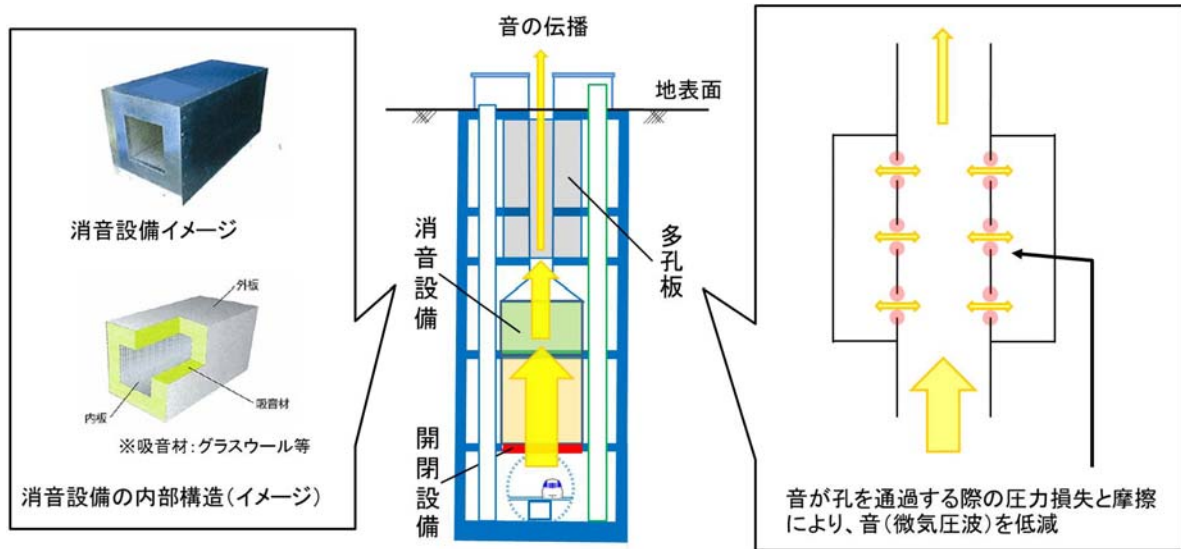
3. 環境保全措置は、環境影響を回避または低減することを優先的に検討した上で、やむを得ない場合は代償措置を講じるという基本方針に基づいている、ということが分かり易い記載にしました

- ・ 保全対象種である「キンラン」については、具体的な生育位置が把握できているため、設置する設備やその配置を工夫することなどにより、工事に伴う改変区域をできるだけ小さくすることを、最優先の環境保全措置と位置付けたことが分かるように記載しました。

※詳細については、別紙をご参照ください。

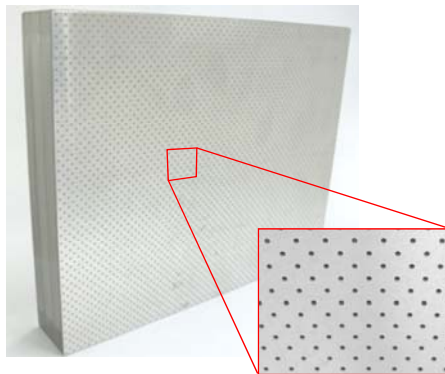
1. 非常口(都市部)の周辺において、騒音や微気圧波の影響がないことを、図や写真を用いて分かりやすく記載しました

<消音装置のイメージと多孔板の減音の仕組み>



(評価書資料編【東京都】環 2-10-2 ページ)

<多孔板のイメージ>

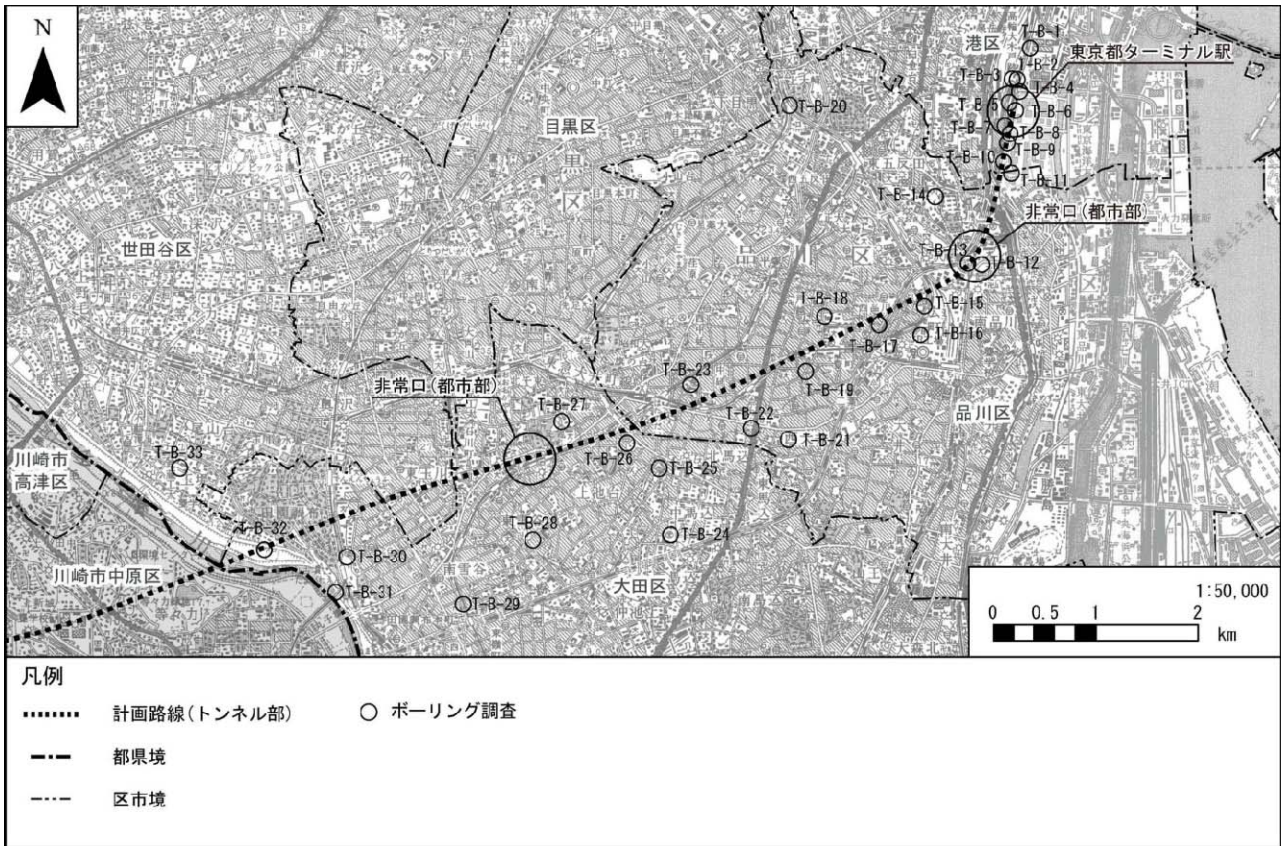


(評価書資料編【東京都】環 2-10-2 ページ)

2. 地下水や地盤沈下の予測の根拠とした地質調査の内容について詳細に示しました。

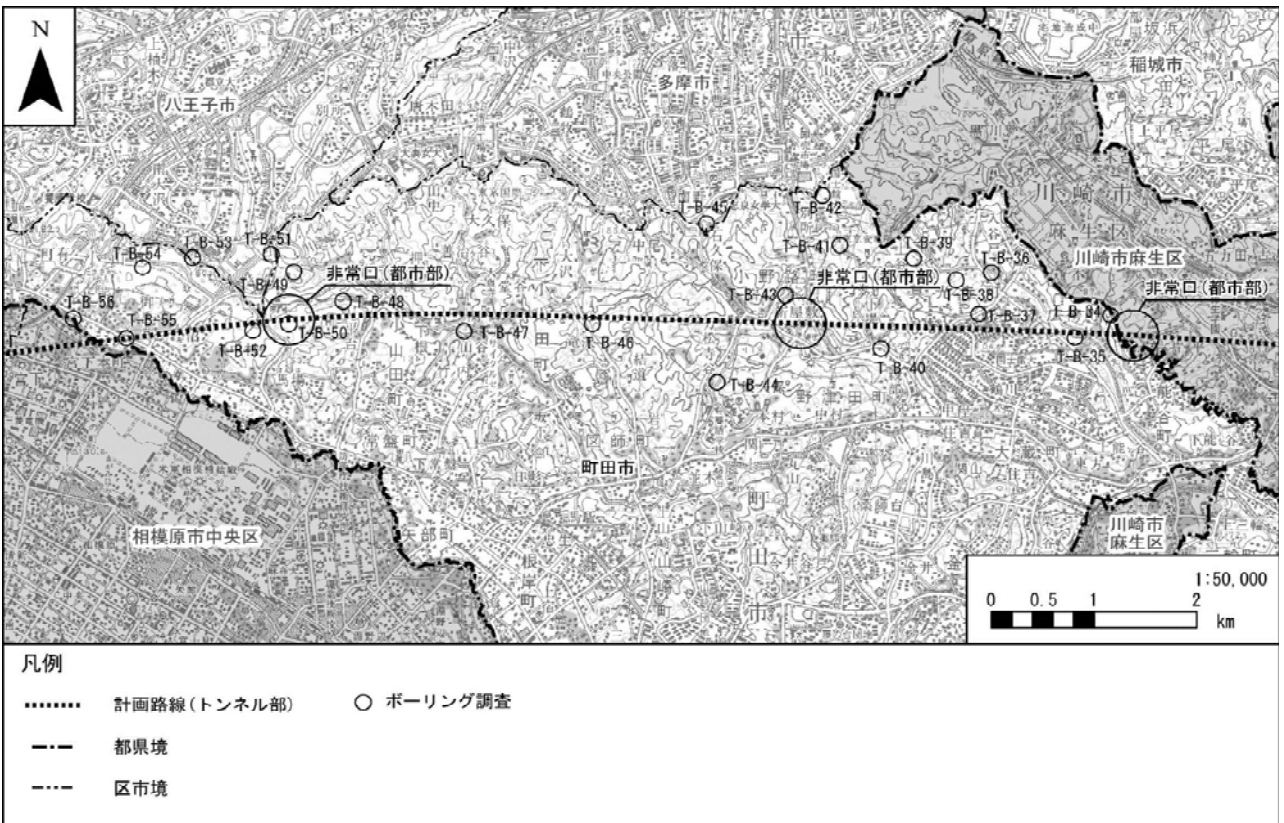
＜東京都(区部)における地質調査箇所＞

(評価書資料編【東京都】 事6-2ページ)



＜東京都(市部)における地質調査箇所＞

(評価書資料編【東京都】 事6-3ページ)



3. 環境保全措置は、環境影響を回避または低減することを優先的に検討した上で、やむを得ない場合は代償措置を講じるという基本方針に基づいていることが分かり易い記載にしました

<キンランの場合> (評価書本編【東京都】 8-4-2-45 ページ)

環境保全措置	保全対象種	実施の 適否	適否の理由
工事に伴う改変区域をできるだけ小さくする	キンラン	適	<u>具体的な生育位置が把握できているため、工事ヤード内に設置する諸設備を検討し、設置する設備やその配置を工夫することなどにより工事に伴う改変区域をできるだけ小さくすることで、重要な種への影響を回避できることから、環境保全措置として採用する。</u>
重要な種の移植	キンラン	適	<u>回避、低減のための措置を講じても生育環境の一部がやむを得ず消失する場合において、重要な種を移植することにより、種の消失による影響を代償できることから、環境保全措置として採用する。</u>

※下線部は補正における追記内容